

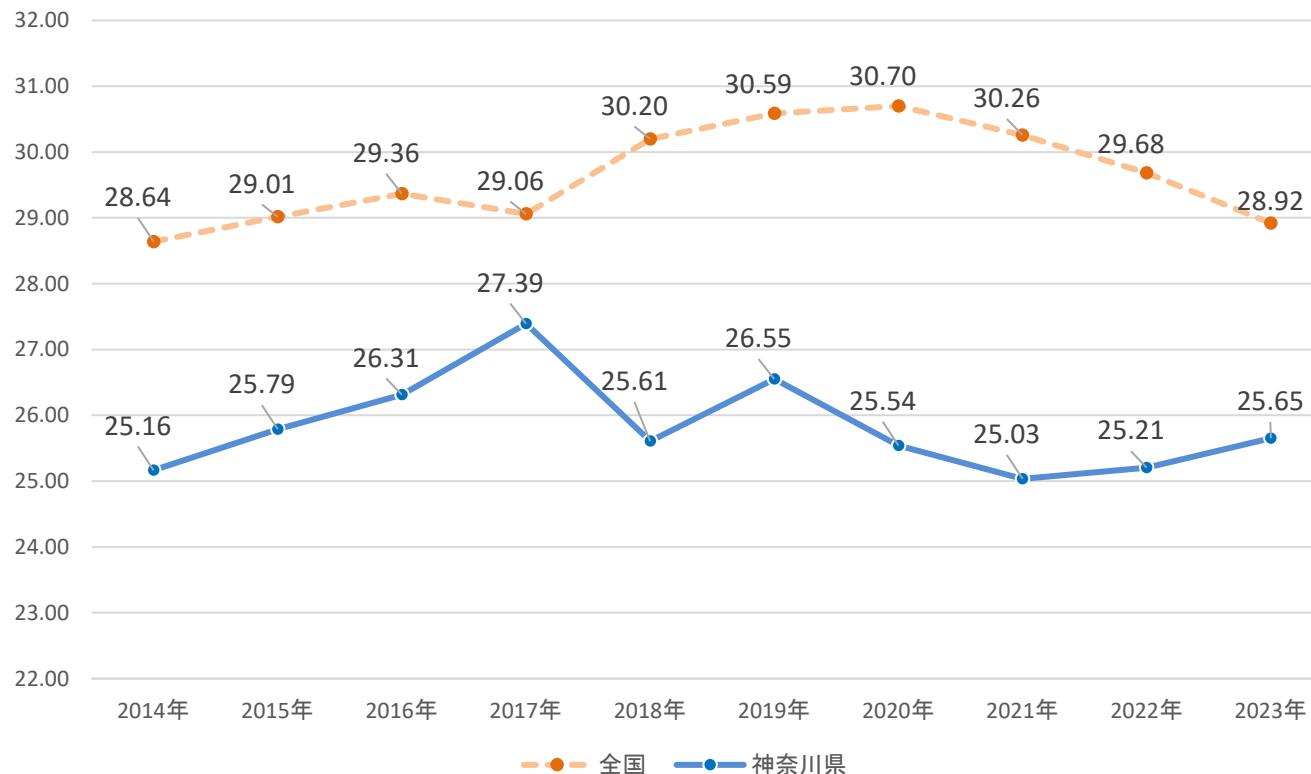


報告（1） 慢性腎臓病（CKD）の現状について

(1) 神奈川県と全国の比較

○新規透析導入患者数（原疾患：糖尿病性腎症を含むすべて）

人口10万人対の推移



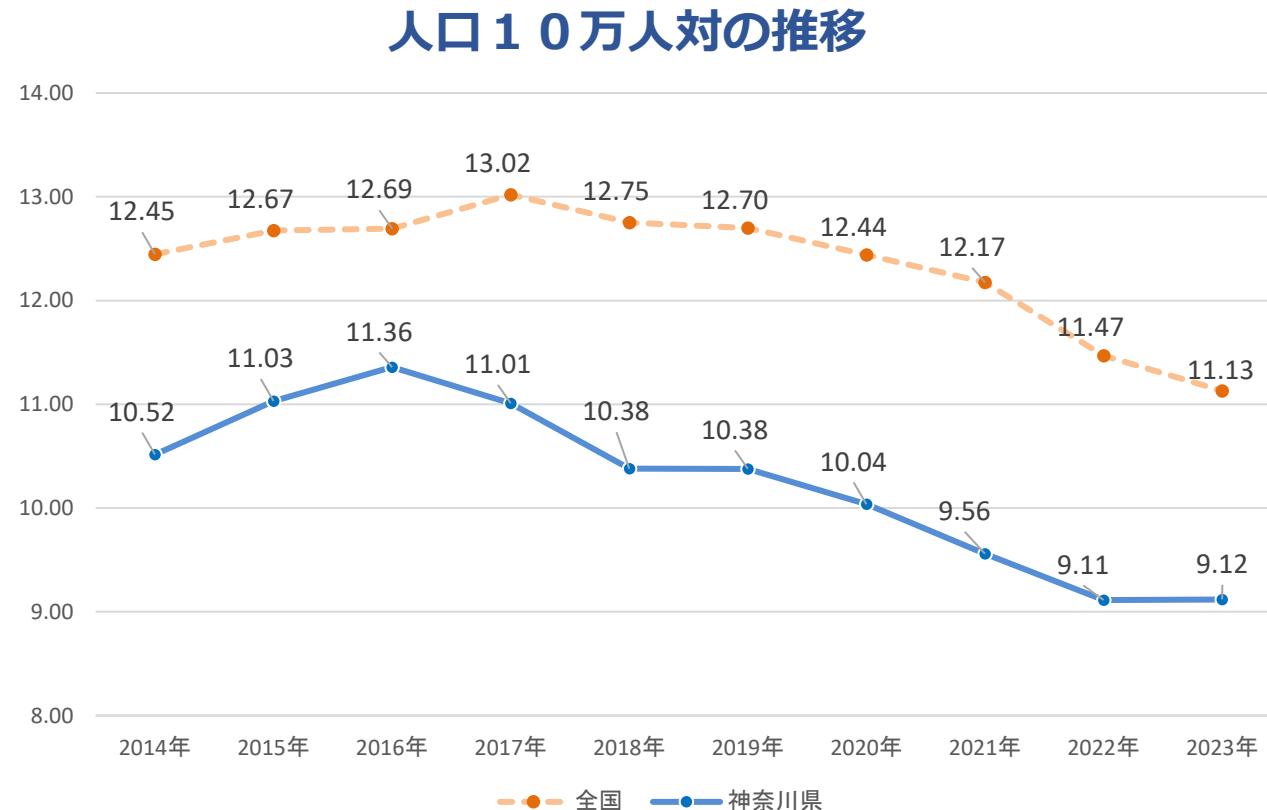
2017年より神奈川県は減少傾向であったが、
2021年～2023年では再び増加傾向にある。
人口300万人以上の都道府県では東京に後れをとる形となつた。

他都道府県との比較（2023年）

都道府県	新規透析導入患者数	人口10万人対	全国順位
新潟県	487	22.78	1
石川県	256	23.07	2
三重県	425	24.18	3
福井県	182	24.18	4
宮城県	552	24.61	5
東京都	3,462	24.88	6
神奈川県	2,367	25.65	8
大阪府	2,490	28.37	16
高知県	311	46.03	47

(1) 神奈川県と全国の比較

○新規透析導入患者数（原疾患：糖尿病性腎症）



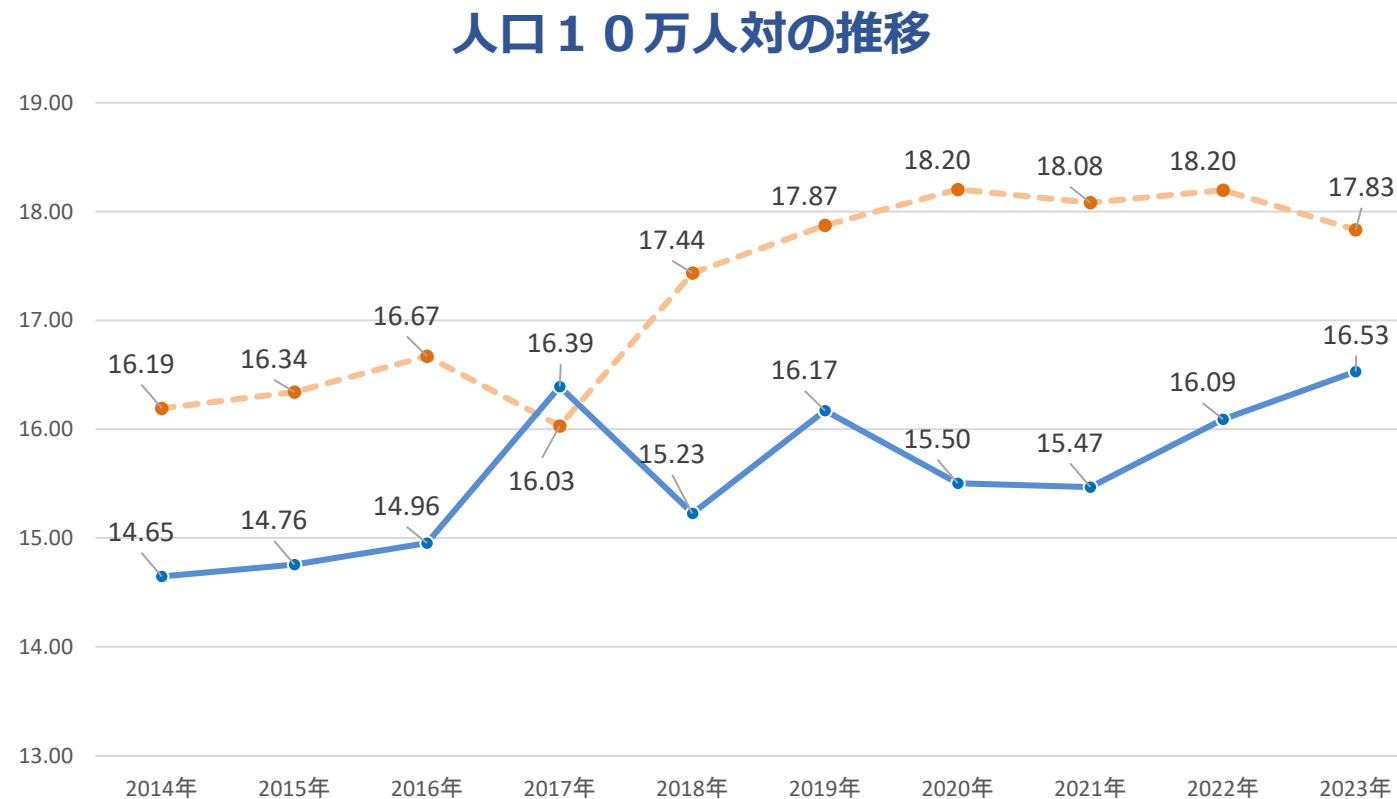
2016年より神奈川県は減少傾向であったが2023年には増加に転じた。
人口300万人以上の都道府県では最も少ない

他都道府県との比較（2023年）

都道府県	新規透析導入患者数	人口10万人対	全国順位
新潟県	157	7.34	1
石川県	90	8.11	2
沖縄県	130	8.75	3
山梨県	72	8.92	4
宮城县	203	9.05	5
神奈川県	842	9.12	7
東京都	1,292	9.28	8
大阪府	999	11.38	28
栃木県	347	18.10	47

(1) 神奈川県と全国の比較

○新規透析導入患者数（原疾患：糖尿病性腎症以外【高血圧やウイルス性疾患等】）



全国は横ばいであるものの、神奈川県は2022年から引き続き増加傾向

人口300万人以上の都道府県では、東京、愛知に次いで3番目に少ない

K

他都道府県との比較（2023年）

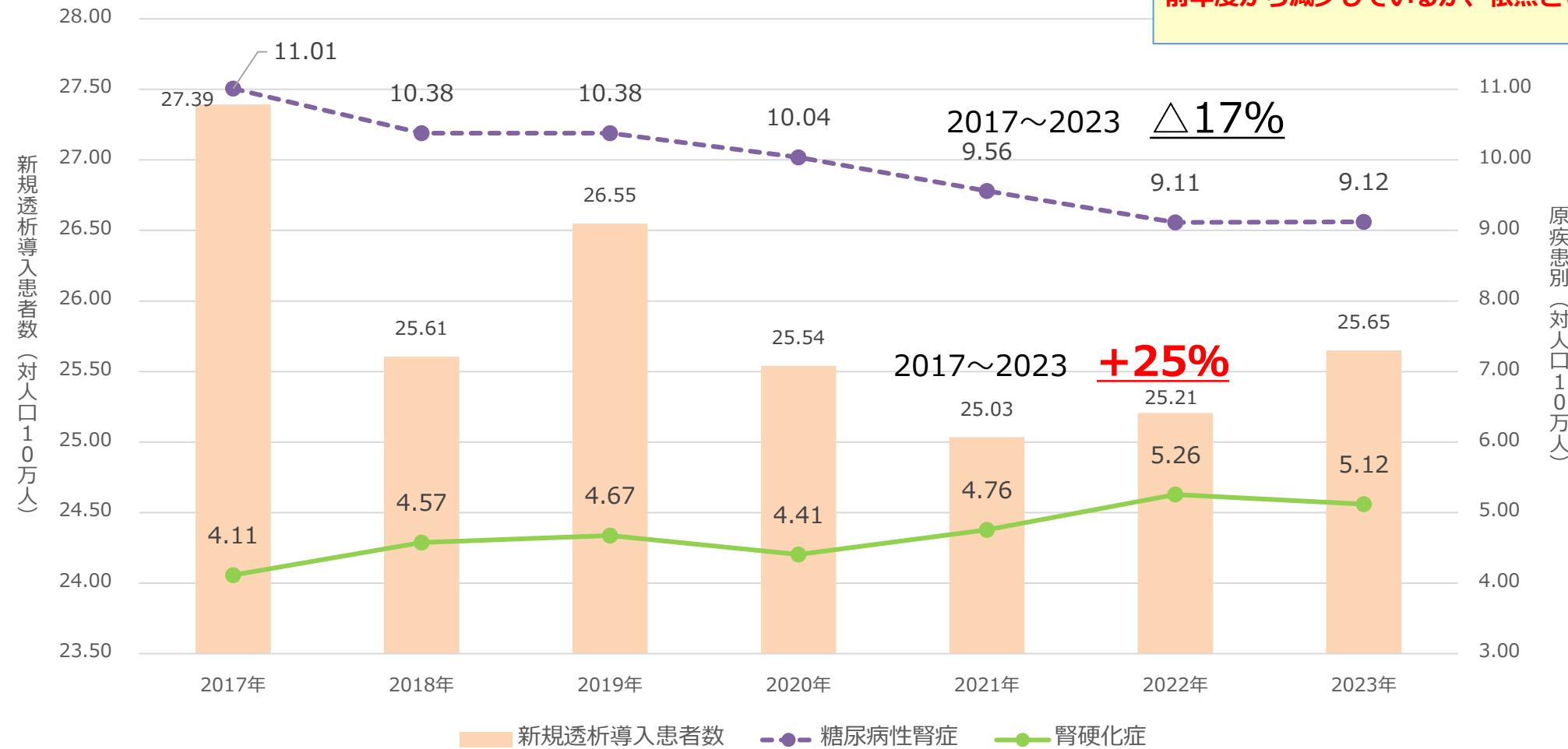
都道府県	新規透析導入患者数	人口10万人対	全国順位
三重県	231	13.14	1
福井県	101	13.42	2
熊本県	254	14.69	3
石川県	166	14.96	4
京都府	382	15.35	5
東京都	2,170	15.59	9
神奈川県	1,525	16.53	12
大阪府	1,491	16.99	14
高知県	213	31.52	47

出典：「わが国の慢性透析療法の現況(2023年12月31日現在)」(日本透析医学会)を基に県がん・疾病対策課が作成

(2) 神奈川県の新規透析導入患者数等の現状

○原疾患別（糖尿病性腎症、腎硬化症）

腎硬化症を原疾患とする新規透析導入患者数は、前年度から減少しているが、依然として増加傾向にある



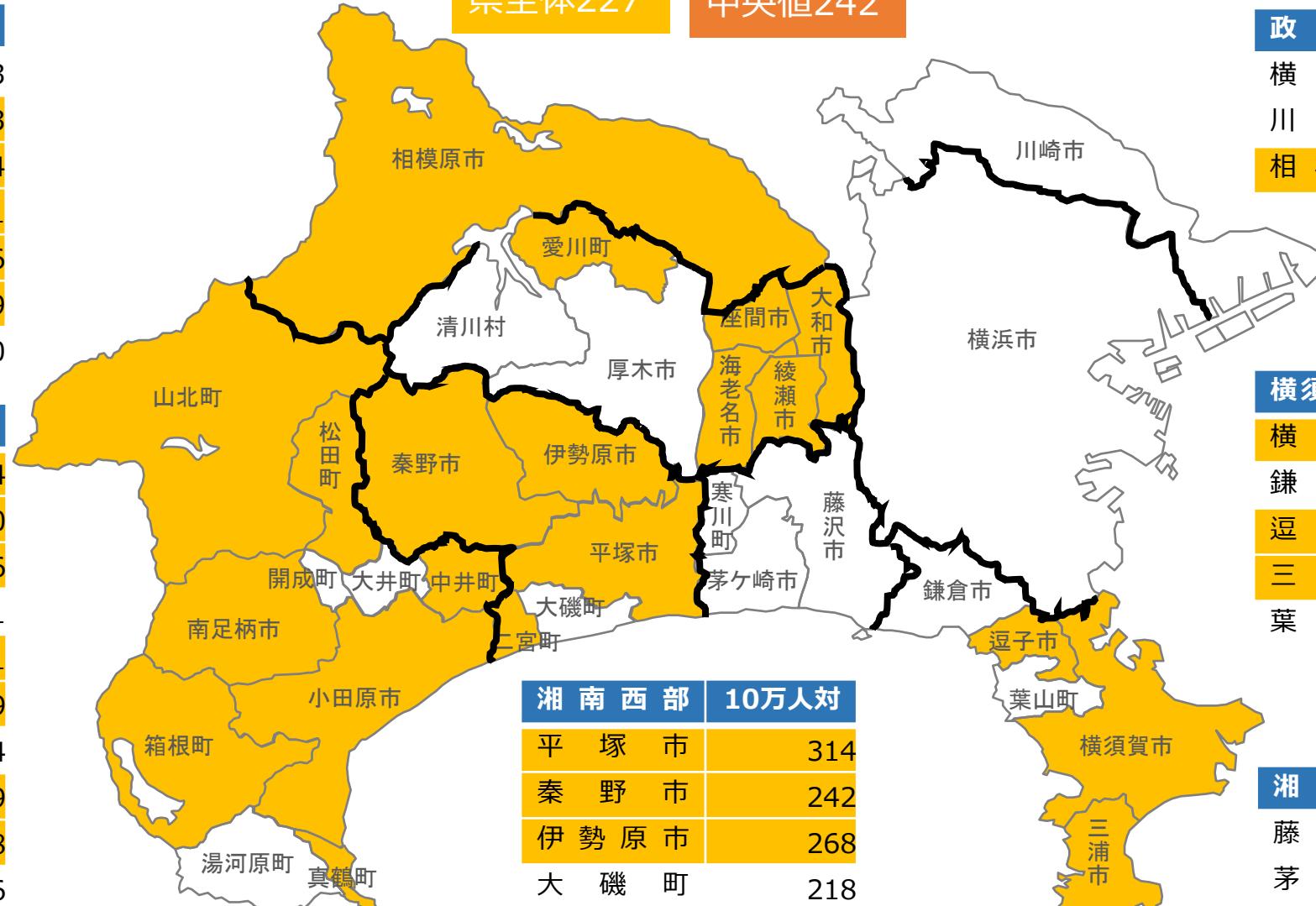
(3) 各市町村の人口10万人対の透析患者数 (令和6年10月1日時点)

県 央	10万人対
厚木市	203
大和市	253
海老名市	234
座間市	271
綾瀬市	266
愛川町	319
清川村	70

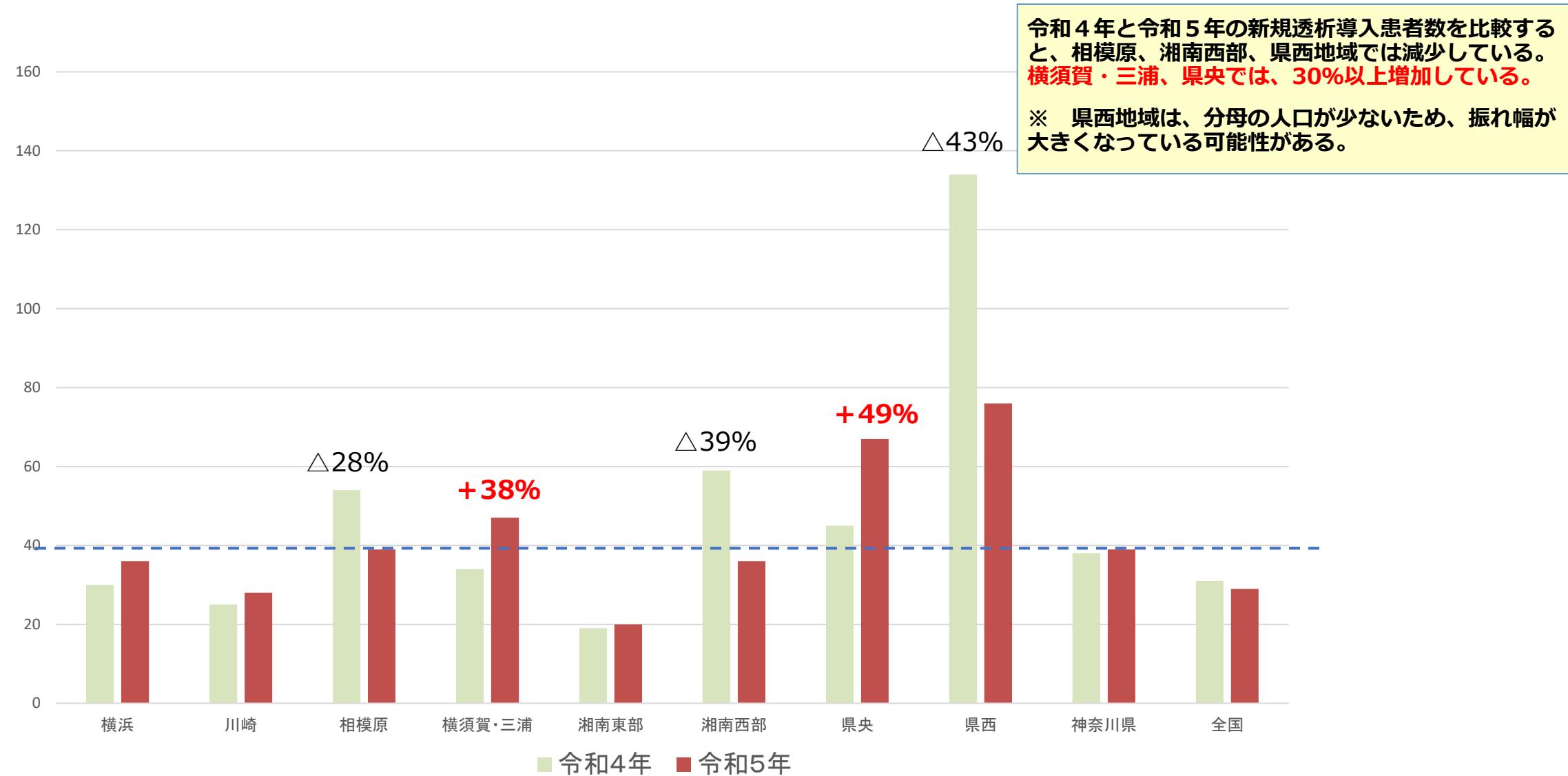
県 西	10万人対
小田原市	264
南足柄市	300
中井町	236
大井町	221
松田町	361
山北町	429
開成町	214
箱根町	249
真鶴町	308
湯河原町	186

県全体227

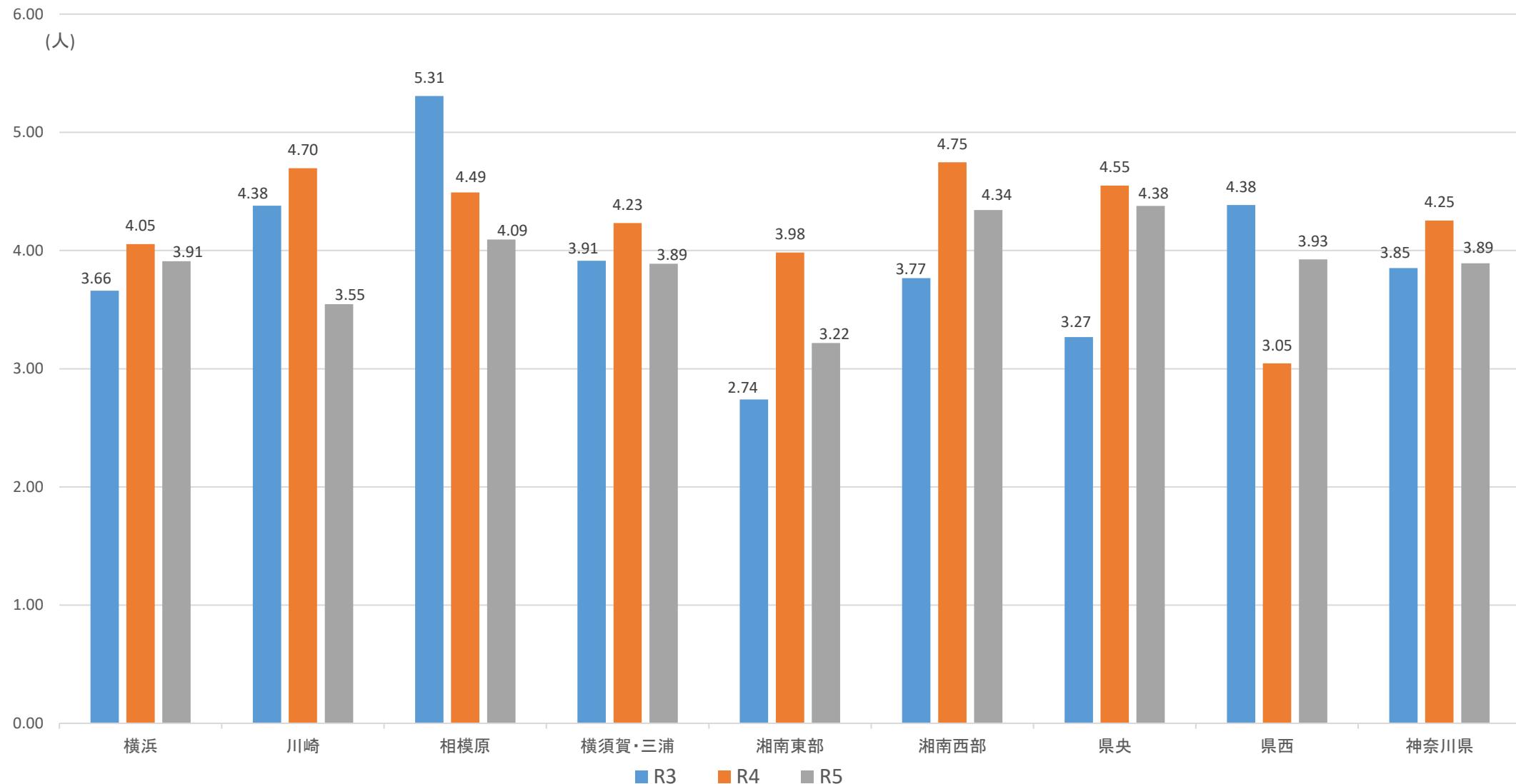
中央値242



(4) 人口10万人対の新規透析導入患者数（二次保健医療圏別）

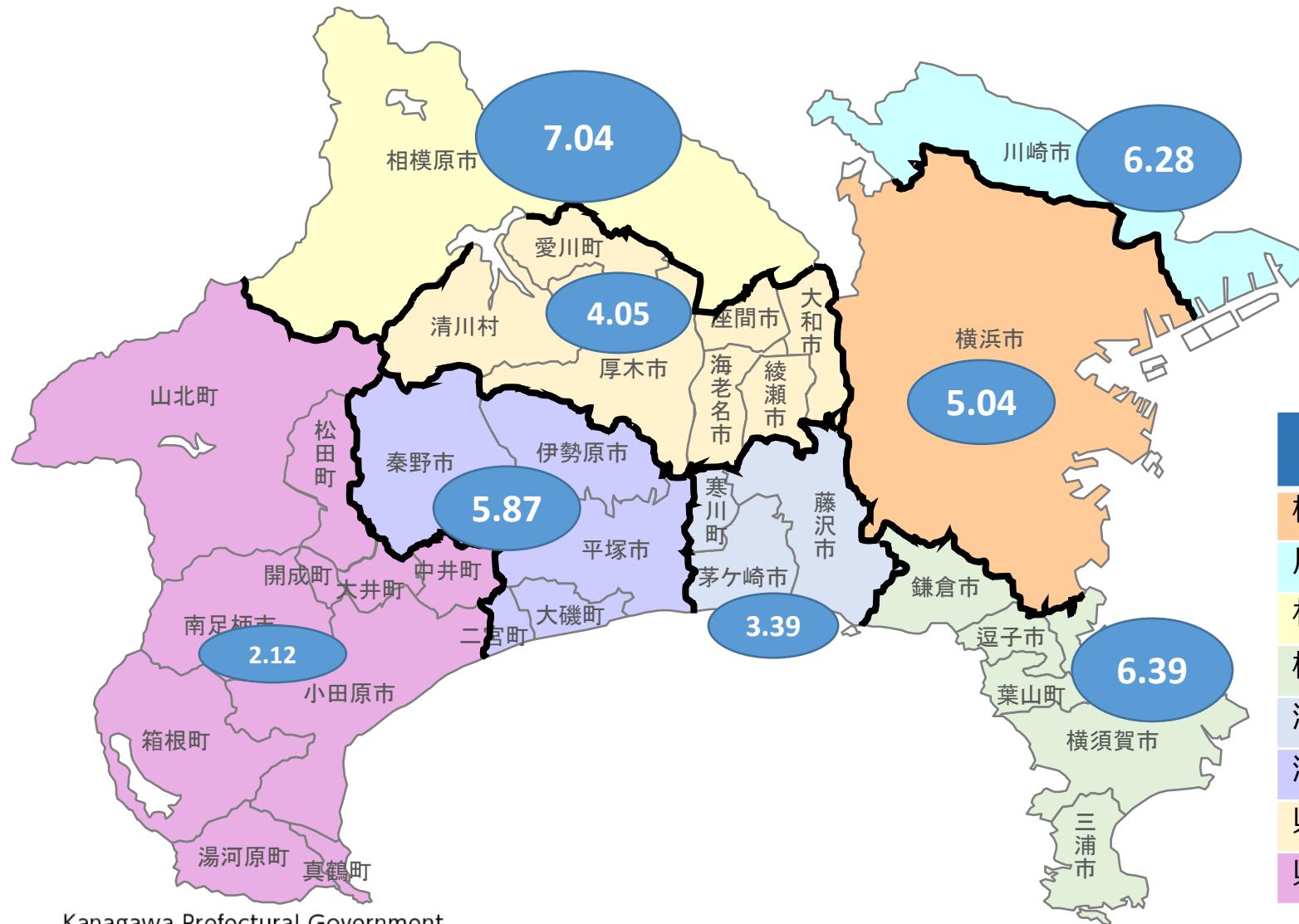


(5) 市町村国保人口1万人対の新規透析導入患者数 (二次保健医療圏別)



出典: 神奈川県国民健康保険団体連合会提供データを加工

(6) 医療圏別人口10万人対の腎臓専門医数（令和7年度）



Kanagawa Prefectural Government

	腎臓専門医数	人口10万人対
全 国	6,578	5.27
神奈川県	482	5.22

二次医療圏	腎臓専門医数	人口10万人対
横 浜	190	5.04
川 崎	97	6.28
相 模 原	51	7.04
横須賀・三浦	43	6.39
湘 南 東 部	25	3.39
湘 南 西 部	34	5.87
県 央	35	4.05
県 西	7	2.12

出典：日本腎臓学会の腎臓専門医名簿を基に県がん・疾病対策課が作成

(7) KPIの達成状況

【実績】